

ワークショップ進行案

全体テーマ：嘉麻のここが好き。10年後も、ここで暮らすために。

■プログラム構成案

次第	内容	時間
0. 開会	総合司会：伊藤総合政策課長補佐	0分
1. 挨拶	佐伯市長・小林総合政策課長	5分
2. 市の現状の説明	嘉麻市総合計画策定審議会 井原会長	20分
3. グループワーク		全体 80分
ワーク1	嘉麻の好きなところ+変わってほしいところ	20分
テーマ・問い	①「嘉麻市の好きなところ・大切にしたいところ」 ②「10年後、変わってほしいところ」 (自己紹介時に各1つずつ出してもらおう。紹介後、それ以外のものを聞き出す)	15分
ゴール	①②で出た意見のグルーピング(例えば、施策分野等で)	5分
ワーク2	理想のミライを描く	20分
テーマ・問い	好きなものが続いている、変わってほしいことが実現し10年後って、どんな嘉麻市ですか？	20分
ゴール	守りたいものが続いて、変えたいことが実現した10年後の嘉麻市を、班として1文で表す。 「この班の「理想のミライ」を1文で表してみましょう」 ▽キャッチコピーのようなものが理想 ▽難しいそうであれば、 () できる・ある・続く () のあるまち・人が集まるまち・暮らせるまち と構造化させておく <例> ・自然の豊かさを守りながら、買い物や移動が便利なまち ・高齢者も若い人も、安心して暮らし続けられるまち ・地域のつながりを大切にしながら、子育てしやすいまち	
休憩		10分
ワーク3	「理想の未来」の実現に必要なこと	30分
テーマ・問い	「班の理想のミライ1文」を実現するために必要なことは？ ▽市民・地域ができること―― ▽行政がおこなうこと―― (バックキャストで考えていく)	20分
ゴール	「この班がいちばん伝えたいこと」を1~2つに絞り、理由を発表・共有する。またはギャラリー・ウォークにて共有。	10分
4. 総評	嘉麻市総合計画策定審議会 井原会長	5分
5. 締め挨拶		5分
6. 閉会		計 115分

